

2022年（令和4年）3月16日

大庭小だより



藤沢市立大庭小学校

校長 小野田 孝子

「学校づくりアンケート」結果報告と学校評価について

一集計結果からの考察一（今回、円グラフにてお示しています）

今年度も児童のアンケートは、3年生と5年生に行っています。コロナに翻弄されて2年が過ぎました。今年度は、昨年度よりもできることが増えてきた中ではありましたが、夏以降の感染拡大により、2学期のスタートはより制限の多い中での学校生活でした。それでも、昨年度に比べてずっとできることが増えたのは、児童にとっても大きなことだったのではないかと思います。また、昨年度より課題となっていることは、児童の抱える悩みについてです。コロナ不安は大人だけでなく、子どもたちの心にも大きな影を落とすと考えられています。その悩みに学校はきちんとフォローできているのか。まだまだ心配は尽きない状況です。

A:とてもそう思う B:そう思う C:あまりそう思わない D:思わない

（児童の集計結果から）

・今年度もコロナによる制限の中での学校生活でしたが、1番の「学校に楽しく通うことができる」の質問に対し、3年生・5年生ともA,Bあわせて90%にのぼっています。依然として給食が黙食となっていて、楽しく会話しながらの食事のままならない状況ではありますが、それ以外の学習や休み時間、行事などを通して児童が楽しく通っていることに安堵の気持ちです。

・同じく5番の「学校の行事は楽しい」という質問については、3年生はAの児童だけで90%を超え、5年生についてもAと答えた児童が85%にもものぼりました。今年度、遠足や大庭っ子オリンピックを行えたことが、児童にとって励みになるとともに、学校生活の楽しさにつながったと考えられます。特に5年生は、活動を縮小しながらもハケ岳野外体験教室を行えたことは、とても大きく、一回り成長できたように感じています。これらを見ても、各種行事によって児童の成長が見られることが分かるので、次年度は行事の実施方法を見直しながら、児童のために工夫した活動を行っていきたいと考えます。

・授業について見てみると2番の「授業の内容はよくわかる」の質問に対して3年生・5年生ともに90%の児童がA,Bを選択しています。ただ、詳しく見ると5年生では、AとBを選択している割合がほぼ同じであり、3年生については、55%がAを選択しており、学習内容の難しさから「よくわかる」につけられない児童の感情が垣間見られているように思います。「全員の児童がわかるように…」という担任の思いはどの学年でも一緒ですが、学年が上がることによる個人差の難しさがこの数字に表れているのだと思います。「どの子もわかるように、満足できるように…」難しいことですが、教育における永遠の課題かもしれません。

・また、学習がわからないことが4番で聞かれる「授業内容に興味を持ち、取り組んでいる」という項目にも表れています。わかる楽しさが実感できる3年生では、A,Bあわせると91%の児童にのぼりますが、5年生ではA,Bあわせても82%にとどまっています。わかる楽しさがその先の学習へとつながっていくことを考えると、授業の中での満足がいかに大切なのが見えてきます。

・毎年、課題に挙げられる3番の「自分の思ったことや考えたことを発表する」は、今年度も3年生でA,Bあわせて80%、5年生で77%という数字になりました。今は、コロナもあって、授業はどうしても自由な発表の場とはなりません。グループ活動やペア活動も満足にできない中、ましてマスクで表情もわからない中での授業は、子どもたちにとって苦しかったのではないかと思います。一日も早く、普通に授業が行える日々がくることを切に願います。

・学年のカラーもあるかと思いますが、今回6番の「友だちと仲良く過ごす」という質問に5年生はA,Bあわせて100%という結果になりました。ハケ岳野外体験教室などを通して絆が深まったといえます。3年生でもあわせて92%になります。これも決して低い数字ではないことを考えるとクラスがともにまとまっているのだと思います。

・教師の指導について見てみると、8番の「まちがったときにきちんと指導している」に3年生98%、5年生100%、9番の「いじめがいけないことと指導している」に3年生90%の児童、5年生95%がA,Bと答えています。教師の指導がしっかりと児童の中に根付いているのを感じました。言葉だけでなく、心にも響くことが大切ないじめに関する指導です。日頃からの指導がきちんと届いていることに安心しました。引き続き、学校全体で取り組んでいきたいと思えます。

・保護者アンケートでも指摘されたのが7番の「困ったときに先生やスクールカウンセラーに相談できる」という質問でした。3年生では85%になりましたが、5年生では68%の児童しかA,Bを選択していませんでした。学年が上がり、自分から発信することにとまどいがあるのが見てとれます。今後は、児童支援担当教諭(みんなの先生)の動きを上手に生かして、児童の困り感に寄り添っていきたいと思えます。

・今回も保護者の皆さんは、90%近くの方が学校に楽しく通っているとしています。児童の結果と同じく、コロナであっても学校が楽しく通える場となっていることに安堵します。

・また、2番の「基礎的な学習の理解ができるように努める」にA,Bあわせて95%という数字になりました。これは、先生方がていねいに指導していることが伝わっているのだと思えます。引き続き、「誰もがわかるように」楽しみながら学習を進めていきたいと思えます。

・昨年課題だった6番の学校の発信力についての項目は、今回もAが14%、Bが58%となっており、まだまだ課題が解決されていないのを実感しました。今年度は、一人一台端末の導入もあり、できるだけわかりやすく、を合い言葉に保護者の皆さんへの発信を行ってきましたが、努力が足りなかったことを感じます。コロナもあって懇談会などの機会が十分に持てませんでしたので、次年度は人が集まり、顔と顔を合わせて会話できるよう、そんな場を設けられるよう引き続き努力をしていきたいと思えます。

・児童が楽しく通えることは学校として大事な部分ですが、保護者の方の信頼を得ることも同じように大事です。その点から考えると、昨年同様5番の「困ったこと、悩んでいることに相談しやすくなっている」という質問にA20%、B51%しかなかったのは、学校の相談体制などのあり方に課題があったものと思われれます。開かれた学校をアピールする上でも、いつでも相談できる体制の構築、発信をより一層強めたいと思えます。

・今年度、集計した中で感じたのは、C評価あまりそう思わない、の数字が目立ったことでした。単純にAやBの合計ではある程度の評価が得られたと感じますが、一方でCの評価があるということは、改善すべき課題が多くあるということでもあります。次年度に向け、今一度教職員とともに、保護者の皆さんの欲している課題を探り、寄り添っていかなければならないと感じました。

―学校関係者評価―

今年度は、コロナ禍の中ではありましたが、学校評議員の皆さんにお越しいただき、学校運営について意見交流を行うことができました。

・アンケートの結果について返し方を考えていくのも必要ではないだろうか。

・コロナ時代の教育が今後、2040年代を支える柱になっていく可能性もあるのではないか。

・一人一台タブレットにともなって…

○目でわかる情報が多くなってしまい、聞く力の低下につながらないか。

○子どもたちの目の健康状態に関する不安はないか。

○利用する側が考えて使えるようになってほしい。

○こんな時代だからこそ、友だちづきあいを大切にしてほしい。

・時代時代で世の中は変わるので、それに人は対応していかなければならない。その人を育てるのが教育である。だからこそ義務教育は大切である。

・人を育てる学校の先生に期待している。

・子どもたちが幸せな人生を送れるように、子ども自身が判断できる力を身に付けさせてほしい。

- ・今、このコロナの中で100%正しいと言い切れるものはない。だからこそ、「子どものために」という思いを大切にしてほしい。
- ・安全については考えすぎるものではない、安全第一で学校運営をお願いしたい。

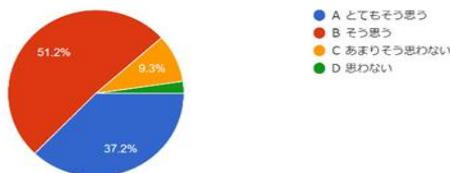
今年度を振り返り、昨年度同様の課題が見えてきました。コロナとともに行う学校の教育活動ですが、教職員・保護者、それぞれに感じるところが違い、温度差があります。今年度はそれが如実に表れたのではないかと考えています。学校によって判断が分かれ、学校によって取り組み方法も違いました。教職員はそれで納得しても、保護者の皆さんにとっては納得のいかなかった部分もあったのだと思います。これからは、コロナとの共存です。誰もが納得できないにせよ、説明責任をしっかりと意識した学校運営を進めていきたいと思ひます。

一年間、大庭小学校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。心より感謝申し上げます。来年度もまた、教職員一同「子どもたちのために」という思いを大切に心をひとつにして教育活動を行ってまいります。

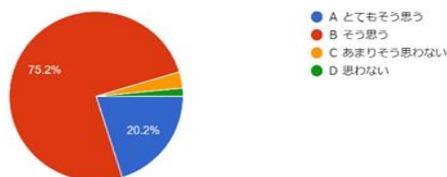
With コロナの気持ちをもって、できることを一つずつ確実に行っていきます。引き続き、大庭小学校をどうぞよろしくお願ひいたします。

「学校づくりアンケート」結果報告（保護者集計結果）129名

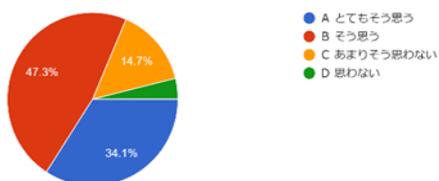
1. 子どもは、楽しく学校に行っている。
129件の回答



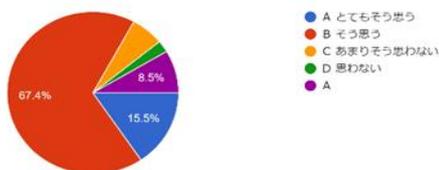
2. 学校は、基礎的な学習の理解ができるように努めている。
129件の回答



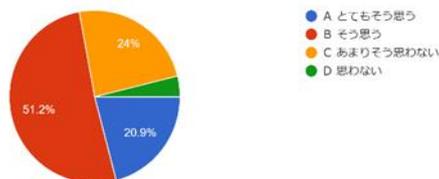
3. 学校の行事（遠足や大庭っ子オリンピックなど...子どもにとって楽しく充実したものとなっている）
129件の回答



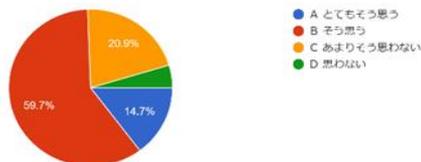
4. 子どもは、学校で、友だちとよい関係ができています。
129件の回答



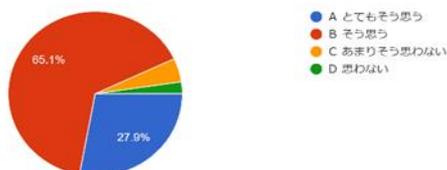
5. 学校は、子どもや保護者が困ったこと、悩んでいることについて、相談しやすくなっている。
129件の回答



6. 学校は、教育目標や指導方針、児童の様子など...保護者や地域に対し、分かりやすく伝えている。
129件の回答

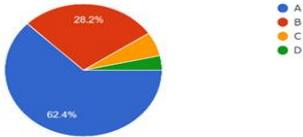


7. 学校は、感染症対策を適切に行っている。
129件の回答

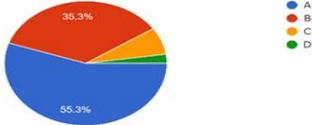


(児童集計結果) 3年(85名)

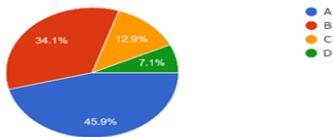
1. 学校に楽しく通うことができる。
85件の回答



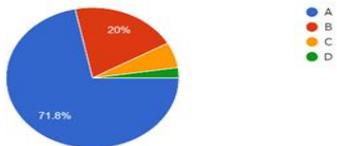
2. 授業の内容は、よくわかる。
85件の回答



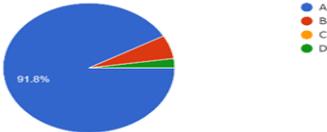
3. 学校で自分の思ったことや考えたことを表現している。
85件の回答



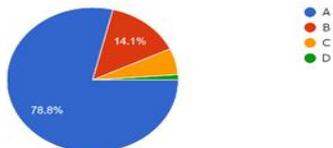
4. 授業の内容にきょうみを持ち、勉強に取り組んでいる。
85件の回答



5. 学校の行事(遠足や大庭っ子オリンピックなど)は楽しい。
85件の回答



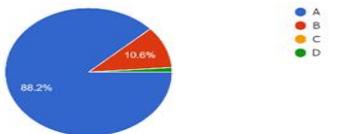
6. 友だちとなかよく過ごしている。
85件の回答



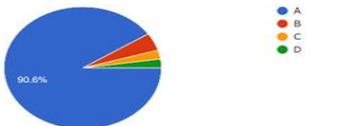
7. こまったときは、先生やスクールカウンセラーに相談することができる。
85件の回答



8. 先生たちは、自分がまちがったことをしたときは、きちんと指どうをしている。
85件の回答

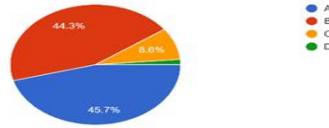


9. 先生たちは、いじめがいけないことだと分かるように指どうをしている。
85件の回答

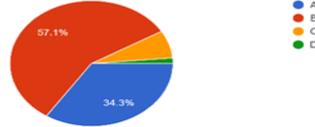


5年(70名)

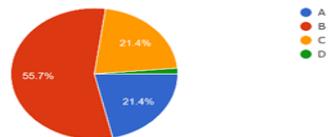
1. 学校に楽しく通うことができる。
70件の回答



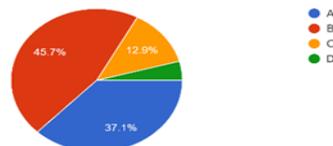
2. 授業の内容はよくわかる。
70件の回答



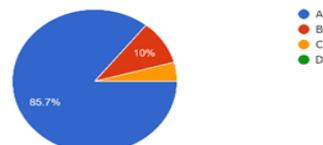
3. 学校で自分の思ったことや考えたことを表現している。
70件の回答



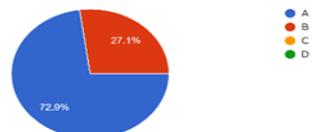
4. 授業内容に興味を持ち、勉強に取り組んでいる。
70件の回答



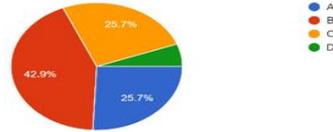
5. 学校の行事(大庭っ子オリンピックや八ヶ岳体験教室など)は楽しい。
70件の回答



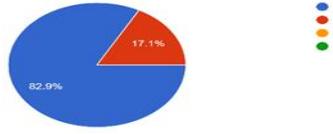
6. 友だちと仲良く過ごしている。
70件の回答



7. 困ったときには、先生やスクールカウンセラーに相談することができる。
70件の回答



8. 先生たちは、自分がまちがったことをしたときは、きちんと指導している。
70件の回答



9. 先生たちは、いじめがいけないことだと分かるように指導をしている。
70件の回答

